

総務文教委員会会議録

1. 開催年月日

平成26年11月21日 開会 12時58分 閉会 14時45分

2. 開催場所

委員会室

3. 出席委員名

西田久志 大鳴二郎 西村慎次郎 三宅文雄
藤原浩司 宮地俊則 森下金三

4. 欠席委員名

なし

5. その他の会議出席者

(1) 副議長 上野安是

(2) 事務局職員

事務局長 三宅道雄 事務局次長 岡田光雄
主任 藤井隆史

6. 傍聴者

(1) 議員 0名

(2) 一般 0名

(3) 報道 0名

7. 発言の概要

委員長（西田久志君） 多少時間が早いようですが、皆さんおそろいでございますので、ただいまから総務文教委員会を開会いたします。

（議長あいさつ）

委員長（西田久志君） 本日の議題は、1、議会への提案についてから3、その他でござ

います。

(議会への提案について)

〈回答案について協議〉

〈決定〉

(所管事務調査)

委員長（西田久志君） 先般の委員会において各委員からアンケート調査結果のまとめについてご意見をお聞きし、その結果を取りまとめて各委員へ配付させていただきました。スケジュールでは、10月から12月ということで改善策の検討にということでございます。きょうはこのまとめをもとに、課題の整理、改善策の検討など今後の進め方についてご協議をお願いしたいと思います。

委員（西村慎次郎君） まとめのほう、ありがとうございます。中身を見せていただいて、最終的にどういうまとめというのか、報告書とか提言書としてまとめ上げていくのかなというイメージが実際にわからないところがあって、まとめていただいた内容を実際にどういふんですかね、何ページかの文書で報告書をつくっていくことになると、もう少しまとめを充実してもいいのかなとは感じたんですが、何かアンケートのまとめを書かれてるところとそこからうかがえる課題が書かれている部分とで、その課題に対して対策をどうすべきかというような対策まで書かれている、アンケートの項目といいますか、その辺まとめで終わってるものもあるし、課題まで書かれてるものもあるし、対策までの案として書かれてるところが、その辺の区別をはっきりしたほうが後々のまとめがやりやすいかなというふうには思っています。これをベースに今後どうしていくかということになってくるんですが、書いてある課題を全部多分上げてまとめると非常に莫大になってくるんで、やはり重点課題というのに絞り込んで、それに対して実際の対策案として提案できればなというふうに思います。

委員（藤原浩司君） 西村委員のおっしゃるとおりなんで、そのおおむねで精査してまとめたほうがいいんじゃないかと思いますが。

委員（大鳴二郎君） 西村委員が言われたんですが、ともあればこれで3つの施設、いじめ、生活、最後の環境の中でこれを皆全部上げるというたら、このまとめに書いてあるんじゃないけど、たくさんなる、だからこの辺でこの施設じゃったらどれどれどれというやつを選んでもらうていったほうがいいんじゃないかなとは思いますが。

〈なし〉

委員長（西田久志君） その3つの項目あります。その中で3つの項目というんか、施設整備、いじめ、それから環境ですか、そのことについてでございますが、1つずつ精査するという必要だと思うんですけど、先ほど言われたとおりこれはいいんじゃない、できてるんじゃないかと、要するに充実してるんじゃないかということもあるし、これは課題についてこれを重点的にしなければいけないということもあるのではないかと思うんで、それを結局今副委員長言われましたけど、選んで、この件についてはもういいんじゃないか、この件については取り上げていかなければいけないのではないかという理解で結構でしょうか。

委員（西村慎次郎君） まとめとしてどう皆さんがイメージされてるかというところで、重点課題に絞って課題が大きく3点こうあります。その対策案としてこうですっていう提案、報告、提言とか報告書にしてしまうのか、今回やってきた調査全体をこういうふういろいろな視点で調査してきました、その中でこういうところはできてるし、こういうところは課題がありそうです、その課題が10個ぐらいあったとして、その10個のうち総務文教委員会としては3つに絞って課題の対策を検討してきましたというような大きな流れでまとめていくのか、具体的な課題に対して対策案をばっと打ち出すのか、もう少しこんないっぱい課題があるんで、教育委員会としてもっと言い方悪いかもしれませんが、モグラたたきのように課題があるとそれをたたきにいくというような一個一個課題を潰していくような対応をしてるように見えるんで、例えば全体的な教育環境整備計画をつくって計画的に環境改善をしていけというような、そういう大ざっぱな提言でいくのか、具体的な課題を打ち出して、その対策案をこっちで提言していくのかという、その大きな方向性はどこへ向かっていきますかね。

委員（藤原浩司君） 今西村さんが、2つの様式のようなことを言われたと思うんです。中で、この1、2、3の調査の目的ということを最初に皆さんで決めました。その中には、1の中にも小学校児童、中学校生徒の学習と生活環境の改善、それから整備、子供たちの健全育成、学校で学力向上、生活改善を図るというふうに5つぐらいの項目がこの中に入っております。ですから、この今のまとめの中には5つの項目の中が一つ一つ違う形で入っております。ですから、大まかなこの1、2、3の中にこれだけのという、この1なら1にある学習であるとか生活環境の改善と整備、学力向上に対して生活改善をするということの仕分けをした中で一つの大きなくくりとして提言をしていく、それに対してはやはりここがおえんからここをええようにしなさいよじゃなしに議会としてはどう思うとるんかというような要はお手伝いですよね、お手伝いを委員会としての考えとして打ち出したものを

提言として差し上げるほうがより生活改善とかをされる学校の先生方のまとめに役立つのではないかというふうに思うので、この3つの大きな課題の中の要はこの今出たまとめを一つ一つまとめていったものでご提言差し上げる、重複したところは何ぼか重複しますから、重複したところはもう割愛していくと、一番この中で大切なのが学力向上生活改善なんです、1番。2番でしますと、保護者と学校間のコミュニケーションであるとかということの構築でしょう。3番目は、行政と学校現場の意思疎通がどのようになってるんかというような答えが出てきます。この中にも、まとめの中で若干ありますんで、そういう形のまとめをしたほうが提言をしやすんじゃないかなと思うんですが、だから極論で言いますと西村さんが言われた2つを足したような感じでまとめていくんがいいんじゃないかなと、そうしないとアバウトアバウトで一つ一つ言っても一つ一つの今度は回答を求めるから、提言してあげにやいけないんで難しいことになってくると思うんで、できるものは割愛して行って、できてあるものは割愛すればいいですし、例えばどこどここの小学校はこういうことにやりましたと、でもどこどここの小学校はこの部分に関して環境整備のこの部分に対してはできてないから参考にしていただきたい。要は、一つの13校をまとめて1つでお考えをまとめていただきたい。それに対しては我々も協力はするというような形の提言、そのような形がいいんじゃないかなと私は思うんですが。

委員（宮地俊則君）　今皆さんが言われてるのは、方向としてはそれで私は結構ではないかなと思います。要するにこの所管事務調査の一番の目的というのは、我々所管する総務文教委員会がこの学校の教育環境その他もろもろのことを調査して研究して、その現状を把握して課題を浮き彫りにしていく、そこが必要な一番大事なところじゃないかなと。その後のちょっと取り扱いについては、まだ今これから言うのはちょっと早いかもしれませんが、ちょっと提言とかという言葉がさっきから飛び交っておるんですけども、例えば施設整備にしましてもそれぞれの学校が施設整備の改善については学教のほうへ庶務課のほうへそれぞれ毎年出されてると思います。また、いじめ問題についてもこの4月にはいじめ問題の対策連絡協議会も設置されて教育委員会、PTA含めてそれに対応されてるということで、提言ありきというのがどうかなというのは私はまずちょっと感じております。今言うように、個々の施設整備一つとっても、個々のことを学校のこの学校のこのをというようなことへは例の提案箱じゃない、あるいは市民の声聞く会じゃないですけども、どういうんですかね、メッセージに委員会がなってしまうかねないかと、そういうもんじゃないんじゃないかなと、所管事務調査というのは、御用聞きであってはいけないし、やはりこの委員会とにかくしっかりそういった現状を把握して課題をしっかりつかんでいく、そこが今言うておられる流れからするとそのことをやっておられるわけなんで、一向に問題はないと思います。また、最終の取り扱いについてはまたその後ちょっと皆さんで私も含めてですけど、

検討させていただきたいなと思います。

委員長（西田久志君） 先ほど西村委員が言われましたけど、大きな流れで行くのか、その中に提言も交えていくのか、それからそこまでいかなくても現状を把握して課題を浮き彫りにしていく、そので大きな違いがあると思うんです。確かに学校訪問をさせていただきまして、それぞれの現場の声を聞いたということも大きなことだと思うんですけど、実際私が委員長として決めるのはどうかと思うんですけど、このお三方の意見というものをまとめにゃいけないと思うんです。今たちまちほかにご意見がないわけでございますので、それによってはやり方が全然また違うのかなと思うんですけど、1つずつ出していって検討して、その中で重要性というか、一番問題点というのを出していってのことだと思います。1つずつ検討していくというのはどうでございましょうか。

委員（三宅文雄君） ちょっと委員長の言われとる意味がわからないんですけど、このどうですか、調査の目的で1、2、3と上げておりますよね。その項目ごとについて上げるという意味で理解すりゃいいんでしょうか。

委員長（西田久志君） を含め、そういうことでございます。

委員（三宅文雄君） わかりました。ほんなら、それでええと思いますけど。

委員（藤原浩司君） 先ほどからも提言という言葉があるんですけど、提言というのは思いを告げるということであって、別にこういうようにしなさいというような命令じゃないんで、今言うたように1つ、2つ、3つある中の全体的にまとめを入れてみますよね、1つ箱の中に入れてみますよね。その中で、この全体的にこういう一番スキルのここが一番肝心なところが多いじゃないかと、これは若干しかないじゃないとか、それをふるいにかけて状態の中を1個の中で集約してこういうところを強化していくべきであろうと、それに対しての提言というのは難しい言葉ですけど、思いを伝えるというだけの意味ですから、その部分に関してはここの学校はできてますよ、先ほども言いましたように、ここの学校はできてます、でもここはできてないですよ、これは全体、井原市の学校、小学校なら小学校、中学校全体としてよく校長先生とも先生方も協議しながら運営をしていきましょうよというような提言でええと思うんです。だから、深いここはかくかくしかじか、1足す1は2になる答えの定義を提言するんじゃなくして、今現状を見据えた提言をすべきなんで、だから全部小さいの1個ずつ入れていくと大変な作業になってしまうし、今もう11月も終わりですから、もう終わりになってきてますんで、2月に多分間に合わんと思うんです。ですから、今言われるように委員長言われるように1、2、3の中に全部箱に入れた中で、ふるいにかけて考え方を委員長が言われるように所管事務としての考え方を示すふうにしていくほうが簡単ではないかなと思います。大体もうこれ大体まとめを見てみたらもうこの1、2、3の中に答え出たようなもんなんで、ただそれを皆さんでどういうふうな、どの箱へ入れるかと

いうだけの問題だと思うんです。

委員長（西田久志君） 提言という元来のこの意味合いというのがそうではなく、要望に近い……。

委員（藤原浩司君） 要望というか、皆さんの意見を示すことを提言というんで、これは命令のような口調の言葉に聞こえますけど、意味合いはみんなで考えたことを示すということですから、これあらわすということですよ。だから、要は総務文教委員会の皆さん委員としての意見を前に示すということですから、その余り難しい意味合いではないんで、前もこれは僕言ったと思いますけれど。

委員長（西田久志君） 議長というより委員としての宮地委員というのはなんですけど、先ほど提言についてちょっと言われましたけど、そういうお考えですけど、いいでしょうか、意味合いですけど。

委員（宮地俊則君） ですから、それは最後の何ていうのか、まとめるところまで私是一向に今言ったように全体を一つにまとめるのか、個々のさっきモグラたたきというような言い方された、そういう形で1つずつ当たっていくのか、それはどちらの形でも皆さんの総意で進めていかれりゃええと思うんですけど、取りまとめには一向に異論はないわけなんですけど、その後の取り扱いについての話を、また後ほどその時点で皆さんに検討してほしいということでもあります。ですから、もうそれまでの過程のこれをさらに煮詰めていくことは、それはそれで結構です。

〈なし〉

委員長（西田久志君） なければ、この大きく3つの調査でございました。その中で1について、特にまとめ、重点課題もなしという項目もありますし、先ほど藤原委員が言われたように要するにこのまとめで大体出とるということでございますが、この中で特にこれについては重要視せにゃいけんというようなことを委員の皆さんからご意見を求めます。3つに分けていきたいと思えます。

それでは、まず1の施設整備状況の調査の中で、これは取り上げなければいけないということについて皆さんの意見を求めます。

委員（大鳴二郎君） 順番にいくんですか。

委員長（西田久志君） いや、順番じゃなくて、順番じゃないです。この1番の。

委員（大鳴二郎君） 取り上げるというか、これはもうこのたびの市長の公約にも出とるエアコン空調機は、これはもう市長やるということをおっしゃられておるんで、別にここでは僕はもう取り上げんでもええじゃねえかとは思いますが、これをまたせにゃいけんという

取り上げても、もうやるというて言われとんだから、これはええと思うんで、パソコンのことに関してはこれはもう今新聞なんかでも iPad 出てあっちこっちで学習、生徒がいろいろ勉強にそれを持ってやっとなんかということも非常に新聞に載っとなんかということもありますんで、そういうことから聞すれば井原市もそういうこともぼつぼつ必要になってくるんじゃないかなと思うんで、これは取り上げてもいいんじゃないかなと、とりあえずその2つを今取り上げんでもええのと取り上げてもええのを、空調機はもうええ、パソコンは取り上げてくださいということの一つ言うときます。

委員長（西田久志君） パソコンプロジェクターも。

委員（大鳴二郎君） そうそう。

委員（西村慎次郎君） 先ほどエアコンとパソコンの話が出たんですけども、空調設備をしていくということに対して特に反対はないんですが、ただこの4年間でこういう整備をしていくがために、例えばICT環境の整備は先送りされるという懸念はないことはないんじゃないかなというふうに思っていて、そこは一言物申してもいいのかなというところで、ほかの環境整備に対しての先送りというのはない形での空調設置というのは進めていってほしいという提言はありかなという意見はあるかなというふうに思っています。

あわせてその辺の整備となってくると、じゃ、質問の2番にありますけど、複式学級に関して先日視察研修行ったときにもありましたけど、適正な学校規模というのを決められて、それに向けて取り組まれている自治体もありましたけども、そういった井原市としての学校規模の適正な学校規模というのは含めて、それに対して今の小学校13校、中学校5校が今後も引き続き必要であるのか、適正な規模に集約するっていう検討も進めていくことがいいんじゃないかというような課題も出さなきゃいけない時期に来てるんじゃないかなというふうには個人的には思います。そこが決まらないと結局空調設備、今の13校、小・中合わせて18校に全部、幼稚園も含めもう少しありますけども、そこへの投資も変わってくるんだろうなというふうに思っていて、そこは変わりませんか。

委員（宮地俊則君） 確かにICTが先送りという、先送りというか、ICTを今後さらに充実するという具体的な話が今出ておりませんから、先送りという言葉はちょっと当たらんんじゃないかなということが1つと、それからさっき聞いた適正規模というのは国、県で指針出されてるのに沿ってなおかつ井原市独自としてイノベーション云々等やってきているというので、その時期に来てるんじゃないかなというのを言うとき、ちょっとごまをするようなことを言うかもしれませんけど、ちょっと慎重にいかなければいけないのは、その話になるとどうしても学校の統廃合の話が絡んでくると思うんです。これは学校だけに限らずその地域のいろんな方々の声にももう敏感に反応してくるところなんで、そこら辺のちょっと取り扱いを決して反論してるわけじゃないんじゃないけど、そこら辺もちょっと頭に入れ

て慎重に言葉に出すときは言うてたほうがええんじゃないかなというふうに思います。そこまで含めた適正規模というふうな話で持っていくのか、それはもう全然別の話とするのか、でも必ず絡んでくると思います。

委員長（西田久志君） ただ、これはもう学教というんか、教育委員会の考え方として統合されるかという、どういうこれからの今の考え方、教育委員会の、明確なことをされてない。

委員（宮地俊則君） 具体的なことは、芳井は以前統廃合、ちょっと手挙げてないけど、芳井は統廃合されましたけど、その後の統廃合の話は何も聞いてませんが、具体的な話は誰か聞いてってですか。

委員（森下金三君） 芳井じゃないんでしょう。

委員（宮地俊則君） 芳井は統廃合されましたけど……。

委員（森下金三君） あとの統廃合というのは聞いてない。統廃合するとしたら、もう青野と野上ぐらいしか、そりゃないわけじゃけど、その話は全く聞いてないし、統廃合するというのは非常に地区の問題もある、非常にすぐ簡単にいくというような問題じゃないと思います。

委員長（西田久志君） この問題は、例えば教育委員会に聞く、お尋ねする。

委員（宮地俊則君） そういうことを私は言っとるんじゃないでして、さっきのこの適正な規模というのは教育委員会は適正な規模というのは各学校2クラスが適正な規模というふうに考えておりますと、定義してますということをこの間もはっきり言われとりましたよね。そこにやっぱり絞ったほうがかええと思う。統廃合の話にまで絡めていくと、非常に話がややこしくなってきた、もう全然当初の思いとは違う方向に話が持っていかれてしまいかねるので、そこら辺をちょっと間違えんようにしたほうが話はこれまとめやすいだろうかと、飛び火してしまうんでということが言いたかっただけです。

委員（西村慎次郎君） 統廃合とかという言葉は出さないでいいと思うんですけど、今後人口、少人数化していく中で井原市としても適正な学校規模というのは検討して具体的に示すべき、示してはどうかという提案をしてはどうかというふうに。

委員（宮地俊則君） そう言われると、この間学教の課長がその適正な規模の学校を目指して、それを目標にやっておりますというのをはっきり断言されておられましたが、もう教育委員会のほうとして、ただそれをそうすると今言う2クラスないような学校同士だったら統合ということになる、けどその言葉教育委員会も非常に神経使って使わないようにされて適正な学級、クラスを持った学校を目指しますということは断言されてるんで、それをあえてこちらから追っかける必要はないんじゃないかなと。

委員（西村慎次郎君） 言われることはわかるんですけど、限られた予算で学校教育環境

の整備というのをしていく中で、多分その空調機とかを整備する、今の18学校、幼稚園13含め全部していくと莫大な費用かかっていく中で、やっぱりほかの、じゃ、空調以外の施設整備というのがどうしても先送りするという話はないにしても、やはり縮小傾向になるんじゃないかなという懸念はあるんで、そこら辺をもう絡めてやっぱり何か検討していかないと学校環境でこの4年間何あったのってなったときに空調整備ぐらいしか残らんようなことじゃいけないと思うんです。

委員長（西田久志君） 4年間。

委員（森下金三君） 市長が言うたんが4年間。

委員（西村慎次郎君） 4年間での空調整備なんで。

委員（藤原浩司君） 西村さん言いたいこと、ようわかるんです。だから、それをだから言葉にあらわすのが多分難しいと思うんですよ。今議長も言うてるように、統廃合の近くまでいかないようにしようとする、ここの1の課題に今言ようる中で学習向上と生活改善、言葉がありますよね。要はこれ全体が健全育成ということになるから、それを含めた中で学習の要は学力向上させるには、やっぱりICTが絶対必要ですよ。それプラス先生に各教室にコンピューター絶対必要ですよ。これもう絶対足りないということが打ち出したから、そこはエアコンであろうが空調整備をするのは、ここで降って湧いたような意見ですから、市長の公約ですから、これはこっちに置いといたとしても、学校の学力向上、生活改善の中には絶対にこれが必要ですよというような書き出しで、それはお金のかかることですからきちとした年次計画を立てて予算づけをしていくというような形の問いというか、提言にしていけば、別に何らそこから先へ入っていかなくても、そこへ重視して重たい意見が出ると思うんで、だからそれはこの全体、総務文教委員会の委員さん皆さんの意向であると、委員会の意向であるということは執行部のほうも重たく重んじますんで、そういうやり方で提言していくべきかなと。だから、ここ今小学校児童、中学校生徒の学習生活環境改善する子供たちの健全育成（学力向上）生徒改善を図るということはもう一つこれも要は絶対にICTも要りますしコンピューター先生方にも要るんですよ。そこんところだけはもう予算をはつってもろうちゃ困るよと、年次計画を持ってきちと子供たちに学力向上のために予算づけをしていっていきべきであるというようなことでしていくべきかなと、私はそういうふうに思ってます。だから、議長の言いたいこともようわかります。それは決められた人数で少人数でやっていくことが一番いいんでしょうけど、それをやっていくと当然統廃合まで手が届いてしまうようになるから、その2歩、3歩下がったところでいくとやっぱり委員会としての提言は空調は外したとしてもICTとコンピューターは絶対必要であるという意見はつけるべきだと私は思いますんで、だから西村さんの意見には反対じゃありません。もうそれはこういうふうに行ったほうがいいかなという私のアイデアですけど、いかがでしょう

か。

委員（森下金三君） ちょっと確認したいんですが、この今言われりょうるのは施設整備状況の調査ということで、大鳴副委員長が言われたパソコン、生徒、教師ということと言われたと思うんですが、この調査票には生徒には必要じゃというのをいっもちよっとどっか書いてあるんか僕もちよっと見落としとるんかもしれんけど、先生は教師用のパソコンが欲しいということはある。しかしながら、今後子供が勉強していく上で我々も視察、武雄市なんか行ったときには子供にそういうものを持たせてやっとなんかということ、ここにはどっかこの項目で子供にもこういうものが必要じゃという項目がこの中に見落としとるんかもしれんの、どっかあるんですかね。これは確かに生徒にもそういうものも今後必要じゃということは私はなかなか疎いんじゃけど、必要じゃと思うんで、そういうものを追加をして入れとくということも必要じゃないかと思うんじゃが、アンケート調査の中にはちよっと見受けれんのじゃけど、生徒にもこういうものを先生が常に持たすべきじゃというのはどこか書いてあるかな。

委員（藤原浩司君） アンケートの中にはないです。

委員（森下金三君） ないな、じゃけ追加というか、委員と調査した結果、この委員会としてはこういうもんも必要であるということを入れとくべきじゃねんかと思うんですが、大鳴委員が言われたようなこと。

委員（大鳴二郎君） 今、生徒にはパソコンというのは載っとらんじゃねえかということなんですけど……。

委員（森下金三君） 載ってないけれど、入れるべきじゃねんかということを使うとるだけじゃ。新たに、ここの委員会としてよ。

委員長（西田久志君） ちょっといろいろふくそうしょんですけど、西村委員が言われた統廃合じゃないですけど、そこまで行くか行かないかということなんですけど……。

委員（森下金三君） そのことで言うわけ。統廃合の問題というのは、非常に微妙な問題じゃから、この施設整備の中へは入れるべきじゃないと、今回は。それは時期が来た早々で、例えばそれエアコンつける場合に青野にしろ少ない教室いやあ青野か、野上ですわな、そんなら生徒数4年後に何人少のうなるのに果たしてエアコンつけてええのかというような問題も4年間で発生してくるかもしれない。しかしながら、ここではその統廃合、適正規模ということとはちよっと話が大き過ぎてちよっと委員会としてそんな勝手こんなことを言われると要らん世話じゃということにもなるから、その統廃合の問題はちよっと先送りしたほうがええんじゃねんかと思うんですけどな。

委員（西村慎次郎君） 皆様のご意見、今年度でまとめ上げるには非常に厳しい。今後の課題として。

委員長（西田久志君） わかりました。今後の課題としてということですね。

それでは、その件以外でほかにございますか。この1ですが。

委員（三宅文雄君） 質問3の中で、青野小学校で理科室と家庭科室が1室となっているというような問題がこれ上げられとんですけれども、たしか野上でもこういうようなことを言われとったように思うんです。だから、やっぱりその家庭科室と理科室の実験なんかする部屋はどういうふうな状況かはわからないんですけれども、やっぱり別々にせにゃいけんもんでなかりかというふうなことをちょっと感じたんですけど。

委員長（西田久志君） あれを取り上げるということですね。

委員（大鳴二郎君） 今の三宅さん、それじゃから今言う質問3の部分であるんですけれども、書いたんで、その上のまとめに書いてあるけ、そういうことを取り上げるんだなんだという空き教室の有効利用をしているが教室の使い方に問題点があるということを書いてあるんで、そこら辺の分でもう対応すりゃよろしかろうと思うんですけれど。

委員（三宅文雄君） それでよろしいです。

委員（西村慎次郎君） 質問9にある防犯に関する対策というのは、課題としては上げて、それに対する対策として防犯カメラであるとかフェンスをつくるとかというような各学校に合ったような対策をとっていきべきであるというようなことは盛り込みたいな。

委員（藤原浩司君） これは西村さん、行政と学校現場の意思疎通になると僕は思うんです。要は学力向上とか生活環境を変えることで学力の向上にということとは、ちょっと違うんじゃないかなと僕思うんです。これは取り上げるべきなんですけど、取り上げるべきなんですけど、これは僕は僕的には行政と学校現場の意思疎通を的確にできるような体制を構築する3番に入るのかなというふうに一応振り分けてはみたんですけど、どんなですか。ここへ入れたほうがいいですか。

委員（西村慎次郎君） いや、この1、2、3じゃなくてアンケートの1、2、3でいきよんじゃ。どういう話。

委員（藤原浩司君） まとめじゃけ、1番のまとめでしょ。

委員長（西田久志君） 1番じゃ、1番じゃ、大きく施設整備状況の調査ということ。

委員（三宅文雄君） だから、この1番の項目にあがるんじゃないかという。

委員長（西田久志君） 僕が言ようのは、こっちをしまようります。

委員（藤原浩司君） これを1つずつやっていったら、全部入れるようになるけ、僕が言うたのはこの1、2、3の中の1の中で大まかに分けるもの、2にも大まかに分けるもの、3に大まかに分けるもので集約したもので意見を求めたほうが見やすいでしょうがということ僕が言うた。

委員長（西田久志君） この1というのは小学校の児童、中学校の生徒の学習ということ

ですね。

委員（藤原浩司君） アンケートの1つずつをこれいきょうたんじゃ、もうましゃくに合
やしませんよ。

委員長（西田久志君） ちょっと思いが違うたんですね。済みません。どうでしょうか。
この調査の目的の1、2、3というのがこのアンケートではなく所期の目的ということで
ございますが、ちょっとそういうてまことに申しわけございませんが、そうじゃな。

委員（藤原浩司君） まとまらんでしょう。またこれでまとめにゃいけんことになる。ま
た1カ月後になりますよ。だから、この先ほど言うように所管事務調査事項の一覧表の中の
調査の目的の1、2、3があるでしょ。これ先ほど言いましたけど、目的の1、2、3とい
うたら、この1、2、3の箱の中に入れるものをこの中から入れて、それを入れるべきか入
れないべきかということをお話をしたほうが早いでしょということをお言うたんです。

委員長（西田久志君） どうでしょうか。済みません、もとへ戻りますけれど。

それでは、調査の目的1、小学校の児童、中学校の生徒の学習、生活環境改善整備し子供
たちの健全育成（学力向上、生活改善を図る）を1、教職員の環境を把握し、よりよい指導
体制を構築することで子供たちの保護者と向き合える時間をふやすとともに教職員の負荷軽
減を図る、2、3として行政と学校現場の意思疎通が的確にできるような体制を構築するで
ございます、3。そのことにつきまして小学校のアンケート調査のまとめで、これはそこに
上げるに必要ないということも含め、それを1番、2番、3番に振り分けたいと思います。

〈異議なし〉

委員長（西田久志君） それでは、行きます。質問の1。

委員（宮地俊則君） これは先ほど出た問題で、もうパスじゃなかったですかね。パスと
いう言い方は悪いんですが。

〈異議なし〉

委員長（西田久志君） 続いて2、質問2でございます。質問3でございます。

委員（森下金三君） さっき三宅委員が言ようた分じゃねんかな。

委員長（西田久志君） そういうことで、1ですか。

委員（藤原浩司君） 空教室に問題があるということは、これも環境でしょうね、1でし
ょうね。

委員長（西田久志君） これは1。質問4。

委員（藤原浩司君） これは教育の環境。

委員長（西田久志君） 2。質問5。

委員（大鳴二郎君） 2に上げるんじゃない。

委員長（西田久志君） 2に上げる。2ということは、もう上げるということになります。

委員（森下金三君） 1でパソコンでしょう。さっき言うた、これには入ってないけど大鳴副委員長が言うた生徒に対する支給というか、それは入れるんかどうかと。アンケート調査だけじゃ、これらもう提言というか、まとめ……。

委員長（西田久志君） I C機器の整備ということで。

委員（森下金三君） 小学校にも生徒か、そこら辺はどがんなるん。

委員（藤原浩司君） よう i P a dやこう I C Tになるけね。

委員（森下金三君） I C Tっていうんでしたっけ。ちょっとタブレット端末じゃというのは、これのことかな。

委員（宮地俊則君） 生徒個々にパソコンを支給。

委員（森下金三君） 僕はそういう意味で。

委員（藤原浩司君） 今教室にありますよ、一人一人できるだけなら。

委員（森下金三君） 僕が言うた意味は、生徒一つ一つにあると言うたら、今藤原委員は今あるんじゃないと言うけ。

委員（藤原浩司君） 教室へ一人一人使えるのありますよ。

委員（森下金三君） あるん。そんならええです。省きます、訂正。

委員（西村慎次郎君） 今言われようるのは、パソコン教室にあるよという意味で、森下委員が言われてるのはタブレットを使つての学習環境という。

委員（森下金三君） 武雄市がやりようたろう。ああいうような意味のことを思うたんじやけど。

委員（藤原浩司君） これはI C Tです。

委員（森下金三君） I C T。

委員（西村慎次郎君） I C Tの児童・生徒個々に対するI C T機器の整備というところに。

委員長（西田久志君） 1に上げるということですね。質問6、1ですね。質問7。

委員（藤原浩司君） 個々にやりようるから。

〈なし〉

委員長（西田久志君） 質問8。質問9は3。続きまして、いじめ問題に関する調査、質問1。

委員（藤原浩司君） 質問1も2も2です。

委員長（西田久志君） これどちらに上げとっても問題ないだろう。

委員（藤原浩司君） 保護者と向き合える時間をふやすほうが2は入ってますから、これも家庭でのコミュニケーションが必要ということがありますので、2でいいと思います。2つとも。

委員長（西田久志君） 質問2。

委員（藤原浩司君） も同じです。

委員長（西田久志君） 質問3、これ2。質問4、なくてもいい。

〈異議なし〉

委員長（西田久志君） 質問5、それでは2で。質問6、2でよろしいでしょうか。

〈異議なし〉

委員長（西田久志君） 質問7、2でよろしいでしょうか。

〈異議なし〉

委員長（西田久志君） 質問8、なしということで。

〈異議なし〉

委員長（西田久志君） 生活環境、質問1、2という意見が出ましたがよろしいでしょうか。

〈異議なし〉

委員長（西田久志君） 質問2、1という意見が出ましたが。

〈異議なし〉

委員長（西田久志君） 質問3、なし。

〈異議なし〉

委員長（西田久志君） 質問4、要らない。

〈異議なし〉

委員長（西田久志君） 質問5、1番。よろしいでしょうか、1番で。

〈異議なし〉

委員長（西田久志君） 質問6、2という意見が出ましたが、2でよろしいでしょうか。

〈異議なし〉

委員長（西田久志君） それでは、中学校でございます。中学校の質問1、これ要らん。

〈異議なし〉

委員長（西田久志君） 2、なし。3もなし、4もなし、5、1。よろしいでしょうか。

〈異議なし〉

委員長（西田久志君） 質問6、1、よろしいでしょうか。

〈異議なし〉

委員長（西田久志君） 質問7、要らない。

〈異議なし〉

委員長（西田久志君） 質問8、要らない。

〈異議なし〉

委員長（西田久志君） 質問9。

〈なし〉

委員長（西田久志君） 続いて、いじめの1、どうでしょうか、いじめの1は、2ですね、2。

〈異議なし〉

委員長（西田久志君） 質問の2、2でよろしいでしょうか。

〈異議なし〉

委員長（西田久志君） 質問3、2でよろしいでしょうか。

〈異議なし〉

委員長（西田久志君） 質問の4、要らないということで結構でしょうか、上げないということ。

〈異議なし〉

委員長（西田久志君） 質問5、2番でしょうか。

〈異議なし〉

委員長（西田久志君） 質問6も2、よろしいでしょうか。

〈異議なし〉

委員長（西田久志君） 質問7、2でよろしいでしょうか。

〈異議なし〉

委員長（西田久志君） 質問8番、上げない。

〈異議なし〉

委員長（西田久志君） 生活環境調査の1、2でよろしいでしょうか。

〈異議なし〉

委員長（西田久志君） 質問2、質問3、なしですね。上げないでよろしいでしょうか。

〈異議なし〉

委員長（西田久志君） 質問4、これも上げない。

〈異議なし〉

委員長（西田久志君） 質問5、小学校で1でしたが、同じですね、1。

〈異議なし〉

委員長（西田久志君） 質問6、2ですかね。

〈異議なし〉

委員長（西田久志君） 以上で分けられたわけですが、それでは皆さんこれからどういふふうに進めていきましようか。

委員（森下金三君） ちょっと済みません、その前に聞き漏らしたんじゃないけど、2の2ページ。

委員長（西田久志君） 中学校のほう。

委員（森下金三君） 中学校、2の2ページは5は何じゃったん。何もなし。

委員長（西田久志君） 2。質問5。いじめに関する、いじめの問題に関する質問で質問5は2。

委員（宮地俊則君） 何だったらもう一回言うていくわけにいかんですか。

委員長（西田久志君） いきましょうか。小学校の質問1はなし、2はなし、3は1、4は2、ゆっくりいきます。質問1はなし、2はなし、3は1、質問4は2、質問5は1、質問6は1、質問7はなし、質問8はなし、質問9は3、いじめ質問1は2、質問2は2、質問3は2、質問4はなし、質問5は2、質問6は2、質問7は2、質問8はなし、生活環境が質問1が2、質問2が1、質問3がなし、質問4がなし、質問5は1、質問6は2、中学校の施設整備は質問1はなし、2はなし、3はなし、4はなし、5は1、質問6は1、質問7はなし、質問8はなし、質問9は3、いじめ問題質問1は2、質問2は2、質問3は2、質問4はなし、質問5は2、質問6は2、質問7は2、質問8はなし、生活環境調査質問1は2、質問2は1、質問3はなし、質問4はなし、質問5は1、質問6は2でございます。

それでは次に、皆さんどういたしましょうか。

委員（藤原浩司君） 一旦まとめにや、見えんでしょう。

委員（三宅文雄君） まとめにやいけな。

委員（宮地俊則君） まことに勝手なお願いになろうかと思いますが、今のそれぞれのこの先ほど大きな目的の1、2、3に活字としてのまとめの案を正副委員長につくっていただければありがたいと思います。

委員（西村慎次郎君） 私もちよっとまとめないと、この目的に対する対策というんですかね、今後の方向性についての内容がまとめづらいなと思っているんで、それぞれきょう先ほどやった振り分けに応じて現状どうなんだというまとめとあわせて課題もまとめの中に入ってますんで、こういう課題が今現在ありますよというところまでまとめてあれば、その後の対策の検討がスムーズに済むんじゃないかと思います。

〈なし〉

委員長（西田久志君） それでは、まとめるということで委員長、副委員長ということで、それではそうさせていただきます。

それでは、じゃ、まとめるということで次回。

それでは、次回の総務文教委員会を12月8日の本会議終了後ということにさせていただきます。

議会事務局次長（岡田光雄君） 12月8日が定例会の開会日なんですが、この後全協で議会後の提案の振り分けとかをさせていただこうかと思う、事務局で思おうんですが、その後定例会の今常任委員会、所管事務調査とかを、そこでということですか。

委員長（西田久志君） そういうことにさせていただきたい。

それでは、訂正しまして本会議を終了後、全協終了後、後の常任委員会で所管事務調査ということでさせていただきます。

〈異議なし〉

〈なし〉

委員長（西田久志君） 以上で所管事務調査について終わります。

（その他）

〈なし〉

委員長（西田久志君） ないようでございますので、閉会に当たり、議長何かございましたらお願いします。

（議長あいさつ）

委員長（西田久志君） ありがとうございました。

以上で総務文教委員会を閉会いたします。ご苦労さまでした。

議会への提案について

回収場所	記入日	内 容
職員 預かり	9月18日	近所のお年寄りの人がタクシーから降りるのを見て、バスを利用しないのか？我家のおばあさんに話をしたら、理由が分かりました。 バスに乗るのが怖いからだそうです!!? 座席に座る前にバスが発進。足が悪くなったので怖くて乗れない。 他の人からも聞きました。調査して安全確認の徹底をお願いします。

回答（案）

この度は井原市議会へご提案をいただきありがとうございます。

〇〇様からいただきましたご提案につきまして、井原市議会から回答させていただきます。

ご提案いただきましたバス利用の件につきましては、本市の担当課へ提案内容をお伝えし、委託先の運行事業者へ安全運転の徹底について指導していただくよう依頼いたしましたのでご了承願います。

今後も、お気づきの点等がございましたら、市役所担当課もしくは市議会へご提案をいただきますようよろしくお願いいたします。